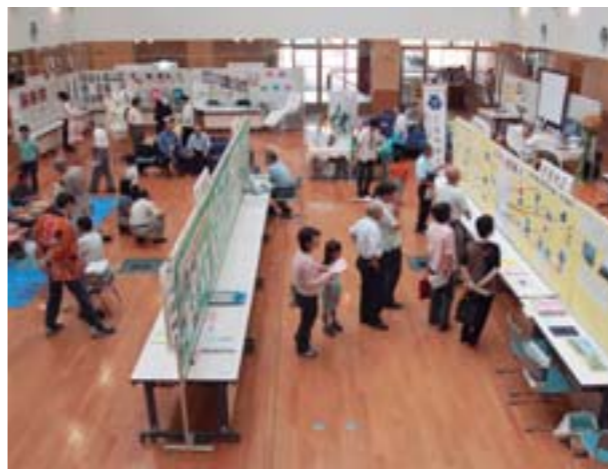


生涯学習フェスティバル



「生涯学習フェスティバル2008」を、9月6日(土)・7日(日)の2日間、総合福祉会館で開催します。入場は無料。ぜひ、お越しください。
日時 9月6日(土)・7日(日)、午前10時～午後4時
会場 総合福祉会館(日吉町二丁目)
市民ステージ
 市内で活動する団体の歌や演奏、踊りなどの発表。

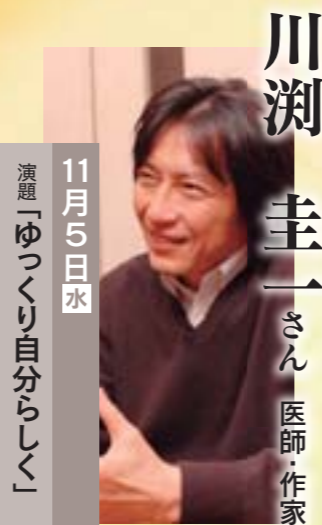


- **わが町広報紙まつり**
自治会が発行する広報紙のほか、町誌(史)・地域情報誌・公民館報などの展示。
- **ようこそ！わが町へ**
四中、元総社、永明の各地区の生涯学習活動の紹介。
- **秋元歴史まつりコーナー**
よろいを試着。記念撮影の写真をプレゼント。
- **ちびっこ広場**
昔遊びや竹とんぼ製作などの体験。
- **クイズラリー**
館内の各ポイントでクイズを出題。参加者に粗品をプレゼント。
- **富岡製糸場コーナー**
パネル展示のほか、座繰り体験も。
- **専修学校各種学校コーナー**
作品・資料展示など。
- **子ども絵画展**
市内の幼稚園児の作品を展示。

問い合わせは
生涯学習課 ☎210-2198

著名人の講演会で文化を満喫

3回シリーズで 市民講座



川渕 圭一さん 医師・作家
 11月5日(水) 演題「ゆつくり自分らしく」



坂井 宏行さん 料理人
 11月12日(水) 演題「私の料理人生」



吉行 和子さん 女優
 11月20日(木) 演題「ヒバー百歳〜母あぐりへの思い〜」

恒例の市民講座を開催します。各界の第一線で活躍する著名人が、3回シリーズで講演。秋の夜のひとときを文化講演会でお楽しみください。
日時 ①11月5日(水)②11月12日(水)③11月20日(木)、午後7時～8時30分
会場 市民文化会館
対象 市内在住・在勤か富士見村在住の高校生以上、先着1,200人
テーマ・講師 ①「ゆつくり自分らしく」医師、作家・川渕圭一さん②「私の料理人生」料理人・坂井宏行さん③「ヒバー百歳〜母あぐりへの思い〜」女優・吉行和子さん(俳人・石寒太さんとの対談あり)
費用 840円
申し込み 9月26日(金)までに往復ハガキで。住所・氏名・電話番号を明記し、〒371-0023本町二丁目12-1・中央公民館「市民講座係」(☎210-2199)へ

あなたのアイデアを作品に昇華 アートコンペティティブ2008



前回のコンペティティブ受賞作品 三宅典子「お菓子と世界の子供達」

「前橋アートコンペティティブ2008」を開催。有能な新鋭芸術家の掘り起こしと、芸術活動の支援、芸術作品の発表の場を提供することが目的で今回が12回目。これに出展する斬新な現代アート作品を募集します。
対象 12月7日(日)の公開審査に参加できる人またはグループ(代理出席可)
応募作品 ドローイング、ペインティング、版画、写真などの平面や、彫刻、オブジェ、レリーフなどの立体で、テーマは自由(複数出品可)
規格 ≪平面≫100㎝×150㎝、≪重さ20㎏以内(立体)≫縦100㎝×横100㎝×高さ150㎝、重さ20㎏以内
申し込み 10月24日(金)(必着)まで

に郵送または直接。所定の申込用紙に記入し、作品の全体が分かる写真を添えて、市役所文化国際課へ
一次審査 応募書類から30作品程度を選出
最終審査 12月7日(日)午後1時から前橋プラザ元気21・1階にぎわいホールで行う公開審査で入賞作品を決定
賞金 グランプリ…50万円(1作品)、銀賞…10万円(1作品)、銅賞…5万円(2作品)、審査員特別賞…2万円(3作品)
審査員 美術評論家・伊東順二さん、建築家・隈研吾さん、メディアアーティスト・八谷和彦さん
 問い合わせは
文化国際課 ☎898-6522

本市は、来年4月1日の中核市移行を目指して準備を進めています。そこで、中核市の事務や移行に向けた取り組みなどを、6回にわたり毎月15日号に連載。今回は、民生行政の主な事務と期待される効果について紹介します。

充実した福祉行政の運営

社会福祉法人が設置する特別養護老人ホームなどの設置認可や指導監査を市が直接行うこととなります。また、社会福祉審議会を市が設置し、市民の代表が審議しますので、高齢者や障がい者の福祉施策などについて地域の実情や市民ニーズに対応した、より充実した福祉行政を行うことができます。

問い合わせは 中核市推進室 ☎898-6526

はばたこう!中核市へ① 6回シリーズ連載

福祉サービスの向上

現在、身体障害者手帳の交付については、市で受け付け県が認定。交付まで約1カ月を要していますが、中核市になると期間が短縮され、医療助成の認定や公共交通機関の運賃割引、補装具・日常生活用具の給付などの各種福祉サービスの早期利用が可能となります。また、県で申請から貸し付けまで行っている母子・寡婦福祉資金の事業開始資金や修学資金などの各種貸し付けについては、市が一括して行うようになりサービスの拡大が図られます。